

講演会のご案内（2月14日）

会員の皆様

日本アルジェリア協会主催の講演会を来る2月14日に以下の要領で開催します。

講師は当協会会員の青柳悦子筑波大学名誉教授です。

講演タイトルは「アルジェリアにおけるマンガ創作の現在——その特徴と意義の考察」です。

【講演概要】

アルジェリアでは15年ほど前から様々な様式の漫画創作が活発となり、若者文化・大衆文化の分野での注目すべき現象となってきました。この講演では、2021年から毎年、アルジェ国際漫画フェスティバル（FIBDA）に招待参加してこられた講師の経験を踏まえ、漫画をめぐる現状について報告いただくとともに、その特徴と意義について考えます。

とりわけ2024年に創設・実施された、在アルジェリア日本大使館によるマンガ創作賞の詳細をご紹介しますことで、今日ますます現地の人々のなかに、日本への格別の愛着と、日本式マンガを通じた文化的アイデンティティの創出を目指す注目すべき強い息吹が存在することをお伝えします。

【講演次第】

○日時：2月14日（金）17時～18時30分頃（質疑応答を含む）

○場所：在京アルジェリア大使館

〒153-0062 東京都目黒区三田2-10-67 TEL 03-3711-2661

（アクセスについては、< <http://algerianembassy-japan.jp> > をご参照ください。）

○参加費：無料（会員）

なお、参加者人数に上限は設けませんが、準備の都合上締め切りは2月12日（水）とします。

また会員は同伴者1名の参加を認めます。但し当協会の財務状況に鑑み、非会員の方の参加費を1,000円とさせていただきますので、当日、会場受付にてお支払いください。

○講演テーマ：「アルジェリアにおけるマンガ創作の現在——その特徴と意義の考察」

○講師：青柳悦子筑波大学名誉教授

【講師略歴】

筑波大学名誉教授。筑波大学人文社会系教授を経て、2024年6月より現職。専門は、フランス系文学理論、小説言語論、北アフリカ文学。主な著書に『現代文学理論』『デリダで読む『千夜一夜』——文学と範例性』（いずれも新曜社）など。アルジェリアの小説ムルド・フェラウン『貧者の息子』（水声社）をはじめ、マグレブ文学の翻訳書も多数。近年アルジェリアでのマンガ創作に関心を持ち、2024年10月のアルジェ国際漫画フェスティバルでは、日本とアルジェリアの文化交流に貢献したとして、大会からの表彰と、現地日本大使館からの表彰を受彰。

.....

本件講演会へご参加の場合、以下のフォームにより、E-mail にて、< info@japan-algeria-association.jp >あてに返信してください。

また、ご同伴者については、氏名・住所を記入の上、返信いただくようお願いします。

.....

日本アルジェリア協会主催 講演会（2月14日）

ご氏名：

ご住所：

ご所属：

メールアドレス：

ご同伴の方のある場合、ご氏名・ご住所：

.....

以上につき、よろしく申し上げます。

日本アルジェリア協会 < <https://japan-algeria-association.jp> >